

花のバングレー！

JSC 貿易部ニュース インド編

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

インド編では、折に触れインド国内のコロナ感染状況に関するニュースもお伝えしてきましたが、インドでは昨年12月19日に累計コロナ感染者数が遂に1000万人を越えてしまいました。

しかしながら、12月に入ってからの新規感染者数は一日2万人程度とのことで、一日の新規感染判明者が10万人近くまで達していた9月半ばのことを思うと、多いのは多いのですが、インド的には減少傾向にはあるようです。本当に一日も早い収束、これを願うばかりです。

さて、話は変わりますが、新年一回目のメルマガは新春らしく「花」についてお話をさせていただきます。

皆さんは、インドの人々の生活が「花」と強く結びついていることはご存知でしょうか。インドを訪れると、日常からホテルや寺院など至る所で花が飾られています。



ヒンズー教徒の多いインドでは、特にプージャと呼ばれる宗教儀式の礼拝では、多くの人々が様々な「花」を神に捧げます。

広いインドでは花の栽培もあちこちで行われており、実際花屋さんも多く見ます。



また、車に乗って移動していると信号や高速道路の料金所で車が止まる度に、子供や女性、お年寄りから、窓ガラス越しに写真のような編んだ綺麗な花輪の売り込みを受けます。



インドで「吉祥」の象徴とも言われる花です。

コロナで大変な状況だからこそ、お花を見ると(´▽`) ホッとしますね〜。

そんな「花」と切っても切れないインドですが、先日、インドのパートナーから、あの銘石バングレーの状況報告がありました。「バングレー」、原石状態は非常に良いようです。

写真を送ってもらったところ.....

バングレーの原石の上にも花輪が！



これもプージャの礼拝の儀礼で、ヒンズー教の神にお花を捧げているようです。お花を捧げる事で物事が順調に進み、様々な障害や難を乗り越える事ができるそうです。

最近、バングレーの石質が良いのはプージャのおかげでしょうか?? (笑)



一時期、バングレーの原石代が高くなり過ぎて、市場で「バングレー離れ」が起きてしまったのですが、ここ数年は原石状態も良く、価格も数年前の「高嶺の花？」のイメージからは変わってきました。

今後はバングレーを「高値（嶺）の花のバングレー？」から「プージャの花のバングレー」にイメージを変えて頂ければ幸いです。

業界的には主要石種の取扱量も総じて減少傾向にありますが、当社ではこのバングレーは時代の流れに逆行し、取扱総量が年々増えてきています。（さすがにコロナ禍の昨年は減りましたが…(^_^;)）



青味があって綺麗ですね～。安心感、安定感のある石目合いです！

コロナで丁場は一時停止しておりましたが、現在は再開し順調に採掘しております。中国の協力工場にも豊富に原石在庫が御座います。

新しい原石も引き続き入荷致しますので、皆様のご発注を心よりお待ちしております～！！(^_^)

本日も最後まで読んで頂きありがとうございました。

厳寒のおりから、くれぐれもご自愛くださいませ。この一年が幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

2021/01/01